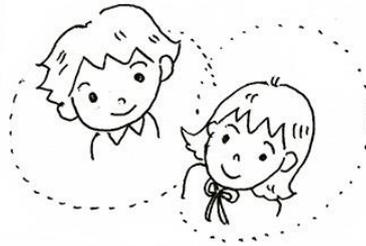


いずみのひろば

2017年7月号
日本基督教団塚教会
No.464 教会学校



「一番大きな愛」

イエスさまは「互いに愛し合いなさい。これはわたしの命令だ」と仰います。互いに愛し合えるのは本当に素敵なことです。いつも怒ってばかりで毎日プブリプブリして過ごすのは本当につまらないし、少しも幸せではありません。イエスさまは、みんなが幸せになれるように「互いに愛し合いなさい」と仰ったのです。

互いに愛し合うために大切なのは「ゆるし合う」ことです。でも人をゆるすことはとても難しいのです。イエスさまは「友のために自分の命を捨てるのが一番大きな愛だ」と仰いましたが、人をゆるすというのは、「自分の思いを捨てる、自分を捨てる」ことだからです。

昔、お友だちに硫酸という何でも溶かす薬をかけられ、顔に大やけどをした女の人がありました。顔は化け物のようになってしまいました。自分の顔も人生もメチャクチャにしたこの友だちを殺して、自分も死のうと何度も思ったそうです。でも教会に行き、イエスさまを信じるようになり、洗礼を受けたいと思うようになりました。すると牧師さんがこう言ったそうです。

「あなたは、洗礼を受けてイエスさまの弟子になろうとしています。イエスさまが十字架の上で自分を殺す人々をゆるしたように、あなたの顔に硫酸をかけ、人生をメチャクチャにしたあの友だちをゆるせますか？」

ずっと黙っていましたが、ついに体を震わせながら「ゆるします」とはっきり答えたそうです。

でも、そうはいつでもほんとはなかなかその友だちをゆるすことは出来なかったそうです。それで、「ああわたしは顔も醜くなったけど、心はもっと醜い」と苦しみました。でもその時、「こんな心の汚いわたしをゆるすために、イエスさまは十字架に架かってくださったのだ」と心から分かったそうです。するとついに、「ああわたしも友だちをゆるそう」と思えたのです。それどころか「実はわたしこそ友だちにイジワルしたり、いばったりして、イヤな思いをさせていた。ゆるしてもらわないといけなかったのはわたしだった」と思ったそうです。やがてこの人は、その友だちと一緒に暮らすようになって、互いに助け合い、愛し合って過ごしたそうです。

私たちが家族やお友だちといつも仲良く助け合うことが出来れば、本当に幸せで嬉しいことですね。そのためには自分の思いを捨て、人をゆるしてあげることが本当に大切なことです。

でも人をゆるすのは本当に難しい！ だからわたしたちはいつも教会に来るのです。そしてイエスさまの十字架の前で、「ああイエスさまがこんな心の汚いわたしをゆるしてくれた。だからわたしもゆるす人になるのだ！」と、そのことを思うのです。

お互いに愛し合うために、いつも十字架のイエスさまのことを忘れないでいましょうね。

(おはなし 内田牧師)